

【昨日の市況概要】				公示仲値	156.51
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	156.40	1.0861	169.85	1.2709	0.6672
SYD-NY High	156.55	1.0874	169.92	1.2727	0.6679
SYD-NY Low	155.85	1.0843	169.23	1.2687	0.6647
NY 5:00 PM	156.20	1.0854	169.55	1.2710	0.6667
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	39,872.99	66.22	日本2年債	0.3400%	0.0000%
NASDAQ	16,832.62	37.75	日本10年債	0.9800%	0.0100%
S&P	5,321.41	13.28	米国2年債	4.8297%	▲0.0214%
日経平均	38,946.93	▲ 122.75	米国5年債	4.4315%	▲0.0373%
TOPIX	2,759.72	▲ 8.32	米国10年債	4.4110%	▲0.0353%
シカゴ日経先物	38,875.00	▲ 435.00	独10年債	2.5060%	▲0.0245%
ロンドンFT	8,416.45	▲ 7.75	英10年債	4.1305%	▲0.0375%
DAX	18,726.76	▲ 42.20	豪10年債	4.2590%	0.0250%
ハンセン指数	19,220.62	▲ 415.60	USDJPY 1M Vol	8.63%	▲0.12%
上海総合	3,157.97	▲ 13.18	USDJPY 3M Vol	8.61%	0.01%
NY金	2,425.90	▲ 12.60	USDJPY 6M Vol	8.99%	0.02%
WTI	78.66	▲ 0.64	USDJPY 1M 25RR	▲1.11%	Yen Call Over
CRB指数	295.96	0.35	EURJPY 3M Vol	8.09%	▲0.01%
ドルインデックス	104.66	0.10	EURJPY 6M Vol	8.59%	0.06%

東京	東京時間のドル円は156.40レベルでオープン。前日から続く円売りを背景にじりじりと値を上げ、156.55まで上昇。156円台半ばでは上値の重さが意識される中、日銀の国債買い入れ減額に関連したヘッドラインに一時156.10まで値を下げるも、引けにかけてやや値を戻し、156.31レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、156.31レベルでオープン。欧州株は若干のリスクオフ。為替は全般に動意薄で、ドル円は156.23レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は156円台前半でスタート。156.55まで上昇する場面もあったが、その後は欧州株の軟調な展開や米金利の低下を受け反落し、156.23レベルでNYオープン。朝方はウォラーFRB理事が「金融政策の緩和姿勢を支持するには、望ましいインフレータをあと数カ月、確認する必要がある」との考えを示すと、156.42まで買われる。しかし、その後は「追加利上げはおそらく不要」、「データはインフレが加速していないことを示している」等とハ派寄りの発言が伝わると、米金利の低下と共にドル円も軟調な値動きとなり、155.85まで値を下げる。午後は売り一巡となり、米金利が戻す動きに追随し、156.25まで徐々に値を戻した後、156.20レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.08台半ばでスタート。米金利の低下を横目に、1.0875まで上昇。その後小幅反落し、1.0869レベルでNYオープン。午前中は手がかり材料を欠く中、1.0860近辺を中心とした値動きが続く。午後はラガルドECB総裁が「物価動向に変化なければ6月利下げの可能性は高い」との認識を示すも、ユーロドルは反応薄。その後も1.0850近辺でほぼ横ばいで推移し、1.0854レベルでクロス。

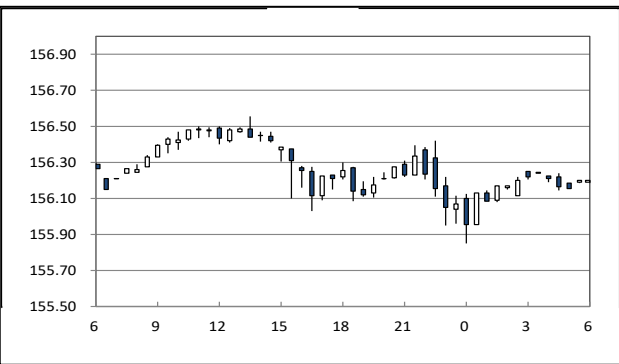
【昨日の指標等】

Date	Time	Event			結果	予想	
5月21日	09:30	豪	ウェストパック消費者信頼感指数		5月	82.2	－
	15:00	独	PPI(前月比/前年比)		4月	0.2%/-3.3%	0.3%/-3.1%
	17:00	欧	ラガルド総裁 講演		－	物価動向に変化なければ6月利下げの可能性は高い	
	22:00	米	ウォラー・FRB理事 講演		－	利下げには良好なインフレ「あと数カ月」必要	
	22:00	米	ボスティック・アトランタ連銀総裁	講演	－	第4四半期前の利下げはないだろう	
5月22日	00:45	米	バーFRB副議長 講演		－	想定よりも長い間、現在の金利を据え置く必要	

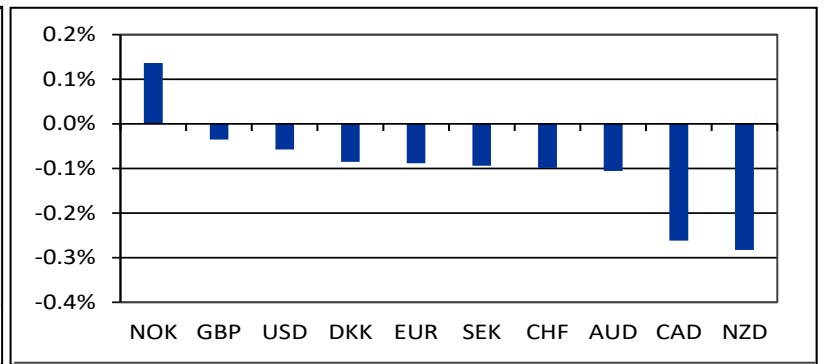
【本日の予定】

Date	Time	Event		予想	前回	
5月22日	08:50	日	貿易収支	4月	-¥297.0b	¥387.0b
	15:00	英	CPI(前月比/前年比)	4月	0.1%/2.1%	0.6%/3.2%
	15:00	英	CPIコア(前年比)	4月	3.6%	4.2%
	23:00	米	中古住宅販売件数	4月	4.23m	4.19m
5月23日	03:00	米	FOMC議事要旨(4/30・5/1開催分)	-	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	155.80-157.30	1.0800-1.0900	169.00-171.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は156円台半ばでオープン。前日からの円売り地合い継続で156.55まで上昇も、直近高値の156.74(5月14日)をバックに反落。海外時間、FRB高官からは目新しい発言はなかったものの、ウォラーFRB理事の早期利下げに対する慎重発言を受けて再び156円台半ばへ。その後は「追加利上げは恐らく不要」との発言に一時156円ちょうどを割り込んだが、結局156円台前半に戻した。先週の米CPIに対するFRB高官の発言を受けてドル円相場は上下しているが、早期利下げを牽制するスタンスが太宗。日米金利差の早期縮小が見通せないことから、ドル円相場は引き続きじり高が基本線か。ただ、156円台後半では本邦当局からの円安牽制もあり、神経質な展開となろう。本日はFOMC議事要旨(4/30-5/1開催分)の公表が予定されており、今後の利下げに慎重な議論が確認されれば、157円をトライする展開も視野に入りたい。米半導体大手の決算結果を受けたりスクオン相場も警戒すべきか。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。